

ユビキタスネット社会の実現に向けた政策懇談会

IT産業ワーキンググループ

**我が国IT産業の発展のための課題
(議論の叩き台)**

事務局

平成16年4月2日

第2回WGにおける議論の進め方

2つの視点からのアプローチ

「社会において必要とされるサービスは何か」の観点からの考察と
「技術的側面からのサービス提供可能性」の観点からの考察の
双方により検討を行う。

検討のテーマ(例)
についてはp 2 参照。

生活ニーズについては、基本
政策WGにおいて一般利用者
向けネットアンケートを実施
(3/26(金)~3/30(火))。

生活ニーズ
産業ニーズ

技術シーズ
技術ポテンシャル

サービスイメージ

2010年の
IT'キタネット社会
のイメージ

技術マップ

(p3)

(p4)

・WG2では、国際競争力強化
や雇用創出のための方策
・WG3では、利用上の不安を
解消するためのルール整備
等について議論を行う。

ニーズに応じていくためのIT産業の課題を議論
規格の標準化、システムの相互接続・相互運用 等
(p5・p6)

課題克服のための方策(民間と行政の役割分担)を議論

< 検討のテーマ(例) >

2010年のユビキタスネット社会に必要なサービス・技術の抽出の考え方

検討にあたっては、

- ・「ユビキタス技術・サービスによって、より便利でより楽しい社会を実現する」という基本的なテーマ(以下)
 - ・「今後予想される社会ジレンマをユビキタス技術・サービスによって解消する」というテーマ(以下)
- といった、2つのテーマを視野に入れるべきか？

便利になる、楽しくなる社会の実現

モバイル、情報家電等の日本の優位な技術を活かして、「便利になる、楽しくなる社会」を実現することが期待される。

- 例) ・ホームコントロール(家庭内の照明、エアコン、情報家電の操作等)
・モバイル電子チケット・会員証サービス
・ローミングでビジュアルコミュニケーション 等

便利になる、楽しくなる社会の実現(例)

携帯電話で
購入代金支払

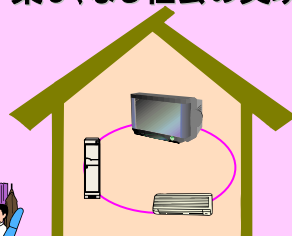


携帯電話、PDA
の通勤定期(タグ)

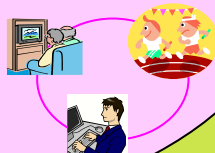
モバイル電子チケッ
ト・会員証サービス



ホームコントロール
家庭内の照明、エアコン
デジタル家電の操作、
玄関ドアの開閉



ローミングで
ビジュアルコミュニ
ケーション



社会ジレンマの解消

A. 高齢化社会の進展と社会活力の維持

< 例 >

- ・高齢者や主婦層が在宅のまま就労できるようなサービスが普及することにより、社会全体の活力が維持され、年金・医療等の社会問題の解消に寄与することが期待される。

B. 環境への配慮と経済効率の確保

< 例 >

- ・電子タグを利用した商品管理により、利用済み製品のリサイクルを効率的に実施し、静脈経済が活性化することで経済全体のパフォーマンス向上という命題との両立が期待される。

C. 安全な社会の維持と自由な活動の確保

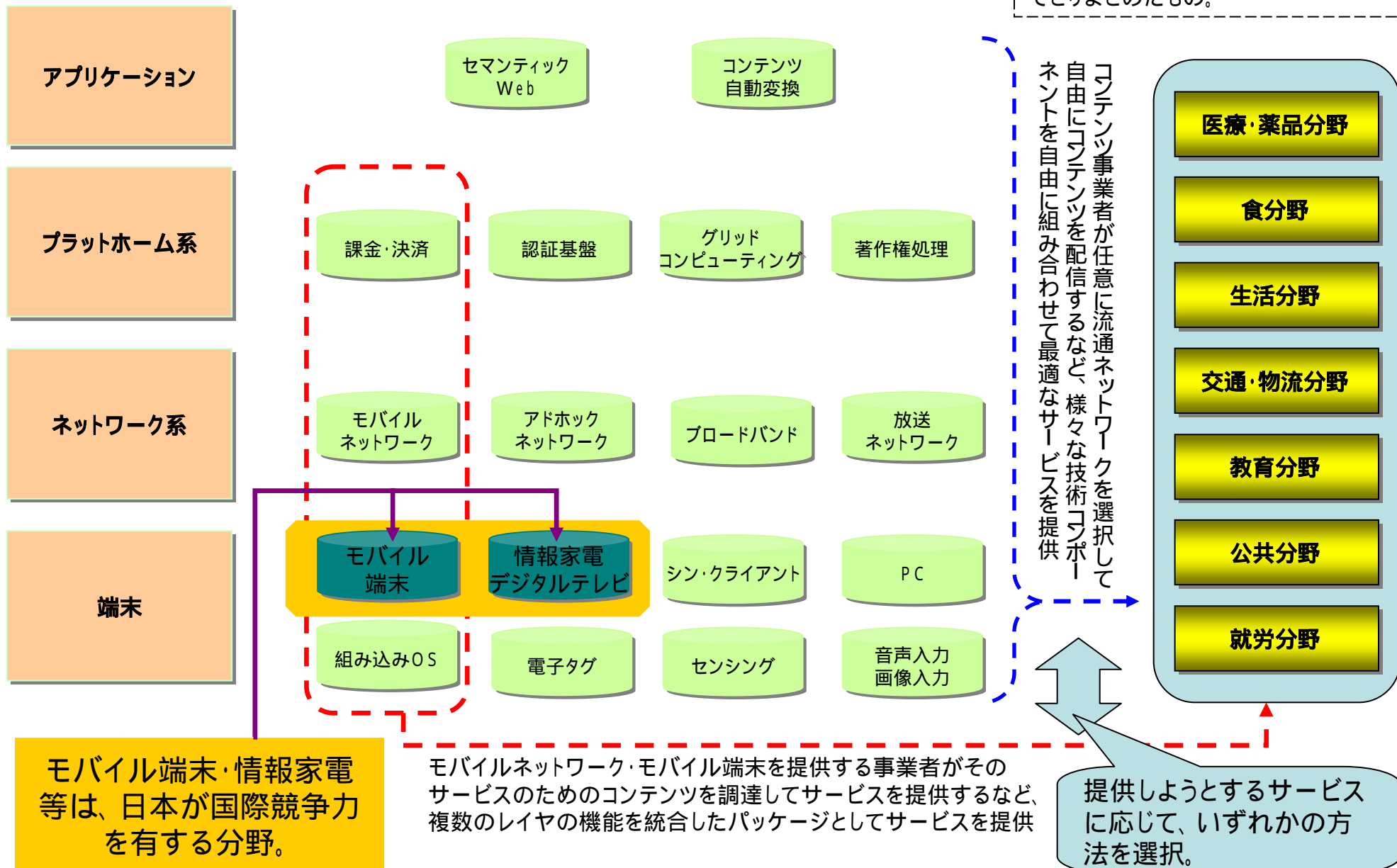
< 例 >

- ・高度な認証技術を用いることにより、いつでもどこでも利活用することができる自由な社会経済活動が進展する中でも、安全な社会システムを維持することが可能となる。

技術マップ

～ サービスを実現するための技術構成の例 ～

第1回総会資料、第1回WGにおける各構成員の意見をもとに事務局においてとりまとめたもの。



現時点での問題意識(抽出すべき課題の方向性)

p3・p4の図を鳥瞰し、事務局において考えられる課題を例示したもの。

問題意識: 規格標準化、システムの相互接続・相互運用

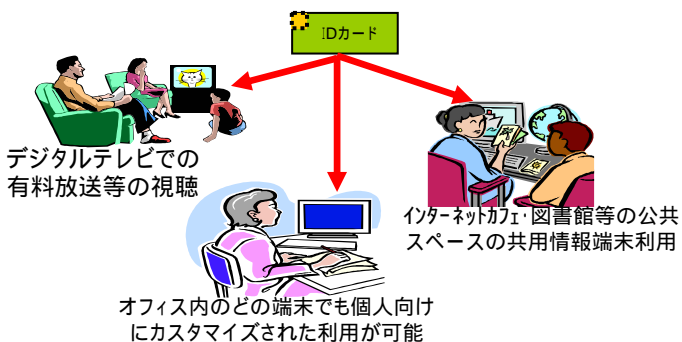
ユビキタスネット社会で必要とされているシステムやプラットフォームは多数提案されているが、それらが別々の規格となると、ユーザーやそれらのシステムの上でサービスを提供しようとする事業者の利便性を阻害するおそれはないか？ (相互接続性等を確保する必要があるのではないか？)

また、共通的な機能やインターフェースの国際標準化を推進する観点からも、国内での標準化は有利に作用するのではないか？

携帯端末や情報家電など、日本が国際競争力を有する分野については、特にこのような必要性が高いのではないか？

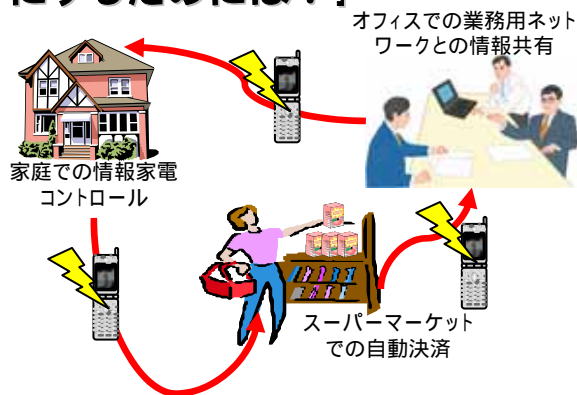
具体例

「1枚のIDカードで様々な固定端末を利用できるようにするためには？」



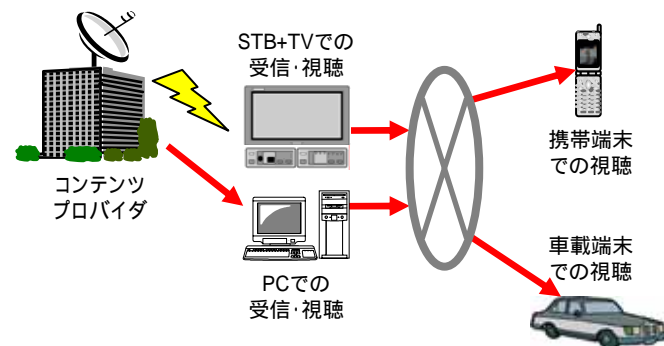
具体例

「1台の携帯端末で、様々なネットワークと接続できるようにするためには？」



具体例

「コンテンツの様々な利用場面を通じて、コンテンツの保護を図られるようにするためには？」



その他の問題意識

技術の「積み残し課題」はないか。(超高速モバイルネットワーク、センシング技術、アドホックネットワーク等)

ITの高度化・多様化、アジア諸国の台頭による国際競争の激化に伴い、産業を支える高度IT人材に対するニーズが高まっている。産業界のニーズを的確に捉えた、負担の軽いIT人材育成システムの確立が必要ではないか。

多様化する消費者ニーズへのきめ細かい対応を得意とするベンチャー企業を育成する観点から、既存企業とベンチャー企業の提携等を促進する必要があるのではないか。

等